

平成 17 (2005) 年度

埋蔵文化財緊急発掘調査概報

垂 水 遺 跡
高 畑 遺 跡
都 呂 須 遺 跡
高 城 B 遺 跡
原 東 遺 跡

平成 18(2006)年 3 月

吹田市教育委員会

序

吹田市におきましては、昭和49（1974）年度国庫補助事業の埋蔵文化財発掘調査以来、多くの発掘調査を実施してきました。これらの調査からは、吹田の歴史を知る上での貴重な資料を数多く得ています。

平成17（2005）年度では、国庫補助事業として5件（1月末時点）の発掘調査を実施しました。これらは、住宅の建築工事を契機としたもので、調査に際しましては、事業者をはじめ多くの皆様のご協力を得ました。

本市教育委員会におきましては、これからも文化財の保護に対してより良い施策をめざして取り組んでいくところでありますが、これも市民の方々のご理解を頂いてこそ成し得るものがあります。市民のみなさまにおかれましては、埋蔵文化財発掘調査をはじめとする本市の文化財保護行政に対し、今後とも深いご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成18(2006)年3月

吹田市教育委員会
教育長 延地和子

例 言

1. 本書は平成17（2005）年度国庫補助事業として実施した、都呂須遺跡、垂水遺跡、高城B遺跡、原東遺跡の緊急発掘調査をまとめたものである。また、平成16（2004）年度に国庫補助事業として実施した、垂水遺跡、高畑遺跡の発掘調査についても併せて報告する。
2. 発掘調査地点は次のとおりである。
〔平成16（2004）年度〕
垂水遺跡 吹田市垂水町1-731-20〔第1期〕
垂水遺跡 吹田市垂水町1-677-17〔第2期〕
高畑遺跡 吹田市昭和町1451-4
〔平成17（2005）年度〕
都呂須遺跡 吹田市内本町2-794-1
垂水遺跡 吹田市垂水町1-761-1〔第1期〕
垂水遺跡 吹田市垂水町1-699-22〔第2期〕
高城B遺跡 吹田市高城町1348-4
原東遺跡 吹田市原町4-2199-9
3. 発掘調査の整理作業は、吹田市立博物館（吹田市岸部北4丁目10番1号）で実施し、資料の保管も同館において行っている。
4. 本文の執筆は、第1章・第2章1・第4章を賀納章雄、他を西本安秀が行った。
5. 図中の方位は磁北を示し、標高はT.P（東京湾標準潮位）を示す。
6. 発掘調査においては、本村和代氏、溝越康雄氏、松本淳子氏、西尾正司氏、奥山和彦氏、北西保彦氏、中田正弘氏、中田美紀氏、濱野建材㈱をはじめとする多くの方々の協力を得ました。記して感謝致します。

発掘調査参加者名簿

調査主体	吹田市教育委員会
調査指導	大阪府教育委員会文化財保護課
調査担当	吹田市教育委員会吹田市立博物館文化財保護係 西本安秀・賀納章雄
調査補助員	秋山芳恵・木松安紀子・高井明美・林裕子

目 次

第1章	平成17（2005）年度発掘調査の契機	1
第2章	垂水遺跡の発掘調査	2
第3章	高畑遺跡の発掘調査	6
第4章	都呂須遺跡の発掘調査	8
第5章	高城B遺跡の発掘調査	10
第6章	原東遺跡の発掘調査	11

挿 図 目 次

第1図	調査地点位置図	1
第2図	垂水遺跡発掘調査地周辺図	2
第3図	調査区平面図〔平成16（2004）年度・第1期〕	2
第4図	土層断面模式図〔平成16（2004）年度・第1期〕	2
第5図	調査区平面図〔平成16（2004）年度・第2期〕	3
第6図	土層断面図〔平成16（2004）年度・第2期〕	3
第7図	調査区平面図〔平成17（2005）年度・第1期〕	4
第8図	土層断面図〔平成17（2005）年度・第1期〕	4
第9図	調査区平面図〔平成17（2005）年度・第2期〕	5
第10図	土層断面図〔平成17（2005）年度・第2期〕	5
第11図	高畑遺跡発掘調査地周辺図	6
第12図	調査区平面図	7
第13図	T2検出遺構平面図	7
第14図	土層断面図	7
第15図	都呂須遺跡発掘調査地周辺図	8
第16図	調査区平面図	9
第17図	土層断面図	9
第18図	高城B遺跡発掘調査地周辺図	10
第19図	調査区平面図	10
第20図	土層断面図	10
第21図	原東遺跡発掘調査地周辺図	11
第22図	調査区平面図	11
第23図	土層断面図	11

図版目次

- 図版 1 垂水遺跡 [平成16 (2004) 年度・第1期]
図版 2 垂水遺跡 [平成16 (2004) 年度・第2期]
図版 3 垂水遺跡 [平成17 (2005) 年度・第1期]
図版 4 垂水遺跡 [平成17 (2005) 年度・第2期] 1
図版 5 垂水遺跡 [平成17 (2005) 年度・第2期] 2
図版 6 高畑遺跡 1
図版 7 高畑遺跡 2
図版 8 高畑遺跡 3
図版 9 高畑遺跡 4
図版10 高畑遺跡 5
図版11 都呂須遺跡 1
図版12 都呂須遺跡 2
図版13 高城B遺跡
図版14 原東遺跡

第1章 平成17（2005）年度発掘調査の契機

平成17（2005）年度は、都呂須遺跡、垂水遺跡、高城B遺跡、原東遺跡の4遺跡（1月末時点）において、住宅の建築工事に伴い5件の調査を実施した。

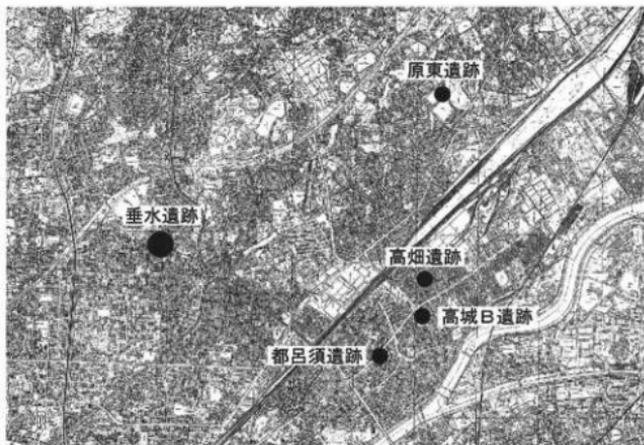
都呂須遺跡は、弥生時代から中世にかけての遺跡である。縄文海進時に形成されたと考えられている吹田砂堆上に広がり、これまでの発掘調査では主に中世の良好な資料を得ている。今回の調査は、内本町2-794-1において実施したものである。

垂水遺跡は、旧石器時代から中世にかけての遺跡である。遺跡は丘陵から平野部にかけて広がり、丘陵上で弥生時代の竪穴式住居跡や掘立柱建物跡などが検出されている。また丘陵下の平野部では古墳時代の溶解途中の銅鏡片が出土するなどの成果を得ている。今回の発掘調査は、平野部にあたる垂水町1-761-1と垂水町1-699-22において実施したものである。

高城B遺跡は、縄文時代から中世にかけての遺跡である。これまでの発掘調査では、古墳時代の井戸や柱穴、平安時代の建物跡、中世の土坑群などを確認している。今回は、高城町1348-4において調査を実施したものである。

原東遺跡は、平成5（1993）年の試掘調査により弥生・古墳時代の遺物を発見したものである。今回は、遺跡周辺地にあたる原町4-2199-9において試掘調査を行ったものである。

なお、本書では、平成16（2004）年度実施の発掘調査のうち、平成17（2005）年2月7日と同年2月28日に実施した垂水遺跡（垂水町1-731-20/垂水町1-677-17）2件と、同年3月23・24日に実施した高畑遺跡（昭和町1451-4）の調査報告もあわせて掲載する。



第1図 調査地点位置図（1：40,000）

第2章 垂水遺跡の発掘調査

1. 垂水町1-731-20における調査〔平成16(2004)年度・第1期〕

(1) 調査の経過

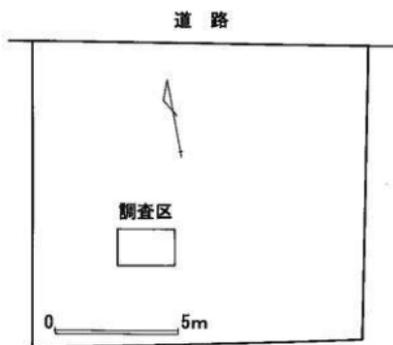
今回の発掘調査は、住宅の建築工事に伴い実施したものであり、平成17(2005)年2月7日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレンチを1か所(約3.5㎡)設定して行った。

(2) 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層・旧耕作土層以下、砂質土もしくは砂層の堆積が認められ、青灰色砂と暗灰色砂質土の混合層(第7層)中において、他所から二次的に堆積したものと考えられる古墳時代・中世の土器細片を4点検出した。しかし、一次的な堆積による遺物や遺構については確認できなかった。



第2図 垂水遺跡発掘調査地周辺図(1:5,000)



第3図 調査区平面図
〔平成16(2004)年度・第1期〕



第4図 土層断面模式図
〔平成16(2004)年度・第1期〕

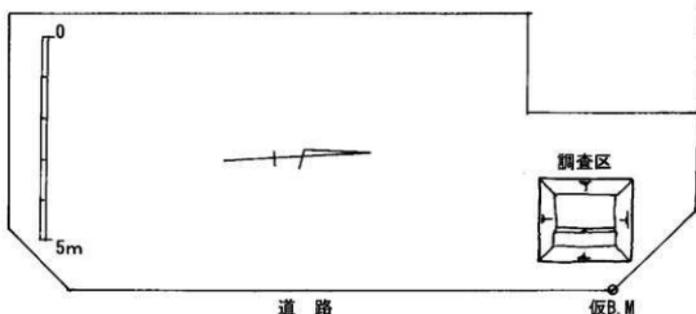
2. 垂水町1-677-17における調査〔平成16(2004)年度・第2期〕

(1) 調査の経過

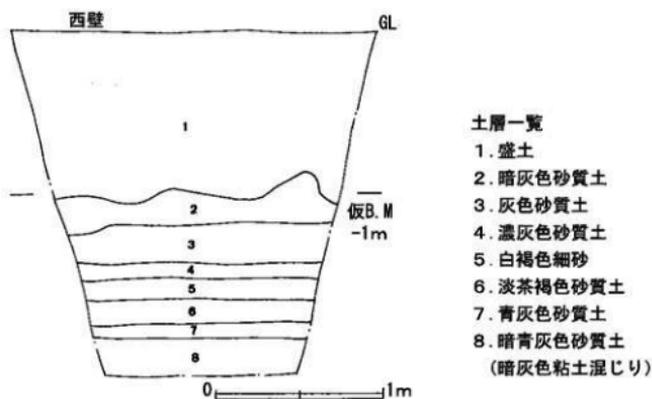
今回の調査は住宅の建築に伴い、平成17(2005)年2月28日に調査区1か所(調査面積4.6㎡)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序はⅠ層 盛土(層厚約1m)、Ⅱ層 暗灰色砂質土、Ⅲ層 灰色砂質土、濃灰色砂質土、白褐色細砂、淡茶褐色砂質土、青灰色砂質土、暗青灰色砂質土(暗灰色粘土混じり)で地表下約2.1mまで掘削した。Ⅲ層以下は砂質土系の堆積土が主体で、中世より古い時期の層に相当すると思われるが、これらの層からは遺構・遺物等は確認されなかった。



第5図 調査区平面図〔平成16(2004)年度・第2期〕



第6図 土層断面図〔平成16(2004)年度・第2期〕

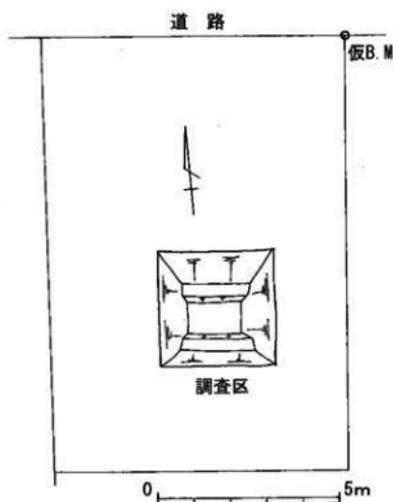
3. 垂水町1-761-1における調査〔平成17(2005)年度・第1期〕

(1) 調査の経過

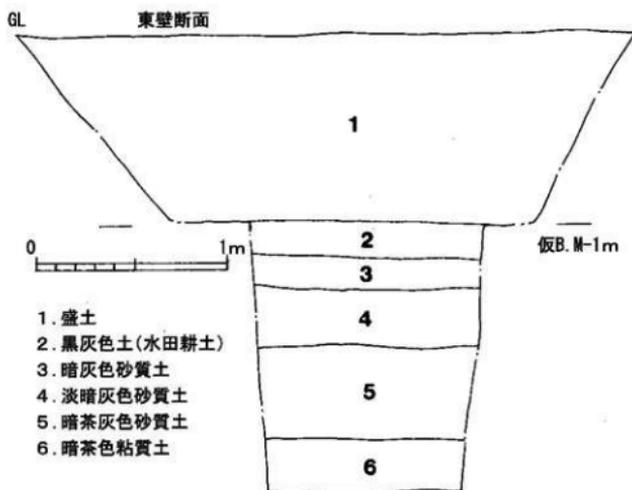
平成17(2005)年7月13日に住宅の建築に伴い、調査区1か所(調査面積10.2㎡)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序はⅠ層 盛土、Ⅱ層 黒灰色土(水田耕土 現代)、Ⅲ層 暗灰色砂質土、淡暗灰色砂質土、暗茶灰色砂質土(粘土混じり)、Ⅳ層 暗茶色粘質土で地表下約2.4mまで掘削した。Ⅲ層は3層に分層できる灰色系砂質土の水平な堆積であり、Ⅳ層は粘質土の水平な堆積でこれまでの調査から中世の時期に相当すると思われる。これらの層からは遺構・遺物等は確認されなかった。



第7図 調査区面図〔平成17(2005)年度・第1期〕



第8図 土層断面図〔平成17(2005)年度・第1期〕

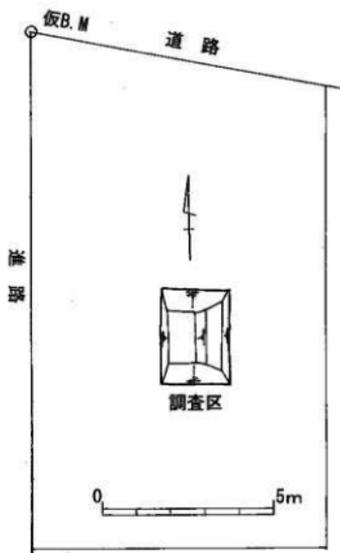
4. 垂水町1-699-22における調査〔平成17(2005)年度・第2期〕

(1) 調査の経過

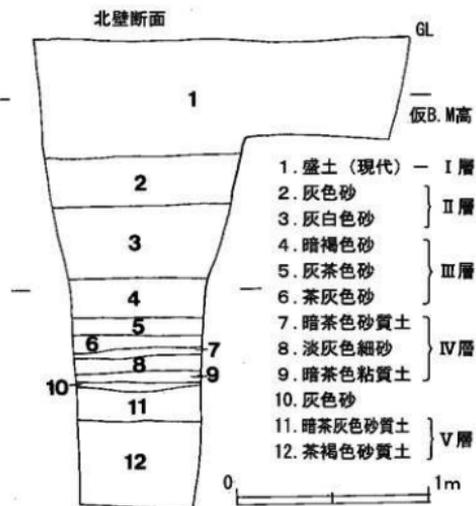
平成17(2005)年9月9日に住宅の建築に伴い、調査区1か所(調査面積5.6㎡)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

(2) 調査の成果

当調査区の基本層序はI層 盛土、II層 灰色砂、灰白色砂、III層 暗褐色砂、灰茶色砂、茶灰色砂、IV層 暗茶色砂質土、淡灰色細砂、暗茶色粘質土、灰色砂、V層 暗茶灰色砂質土、茶褐色砂質土で、地表下約2.6mまで掘削した。II・III層は軟質の厚い砂層で構成され、IV層は砂質土・細砂・粘質土・砂の薄い層が堆積し、V層は茶色系の厚い砂質土が堆積し安定した堆積状況が認められた。これらの層からは遺構・遺物等は確認されなかった。



第9図 調査区面図
〔平成17(2005)年度・第2期〕



第10図 土層断面図
〔平成17(2005)年度・第2期〕

第3章 高畑遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

今回の調査は昭和町1451-4において住宅の建築に伴い実施したものである。平成17(2005)年3月23日に調査区を1か所設定し、重機及び人力で確認調査を実施したところ、遺物包含層が検出された。ただちに事業者と協議を行った結果、調査区を拡大することとなり、引き続き24日にさらに東側に調査区を設定し、重機及び人力で調査を実施した。調査面積は合計約11.2㎡である。

2. 調査の成果

当調査区T1・2の基本層序は、I層(1. 盛土 現代)、II層(2. 暗灰色粘質土 水田耕土 現代)、III層(3. 灰色砂質土、4. 淡灰色砂質土、5. 灰色粘土)、IV層(6. 茶褐色粘質土)、V層(7. 黄色粘土 硬質、地山)である。

T1では地表下約0.6mのIV層(層厚約0.1m)が遺物包含層であり、ここからは古墳時代～中世の土師器・須恵器・瓦器等の細片が出土した。その下のV層では遺構を検出できなかった。

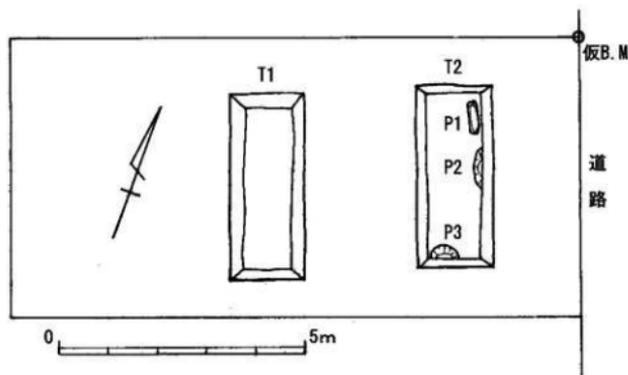
T2では地表下約0.6mのIV層をベースとしてピットを2基(P1・2 中世)検出し、さらに地表下約0.7mのV層をベースとしてピット1基(P3 中世)を検出した。P1は南北約0.7m、東西約0.2m、深さ約0.1mを測る長楕円形を呈し、P2は一部分の検出で南北0.8m、深さ約0.3mの平面円形を呈するものである。P1・2とも遺構内の堆積土は淡灰色粘質土で遺物は出土しなかった。P3は調査区の南端で部分的に検出したもので、平面円形を呈し、東西約0.6m、深さ約0.1mを測る。暗茶褐色粘質土を堆積土とし、瓦器・土師器細片がわずかに出土した。

出土遺物は主にT1の遺物包含層出土が多く、遺構出土はT2のP3出土のみである。内容は古墳時代の土師器・須恵器、平安時代・中世の土師器・瓦器等があったが、概して出土量は少なく、細片で遺存状況も悪く、図化できるものはなかった。

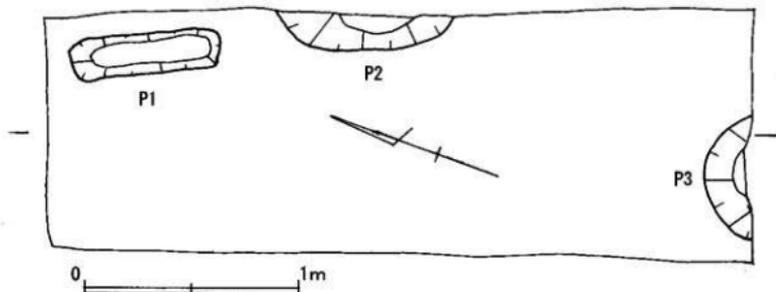
以上、今回検出した遺構のうち、P3は瓦器片等の出土遺物から中世の所産と考えられ、P1・2についてもP3よりは新しいが、ベースとなるIV層の出土遺物から概ね中世のものと考えられる。遺構の性格については部分的な調査であり、具体的なものを想定するのは困難であるが、柱穴等の集落跡に係る遺構の一部と考えられる。



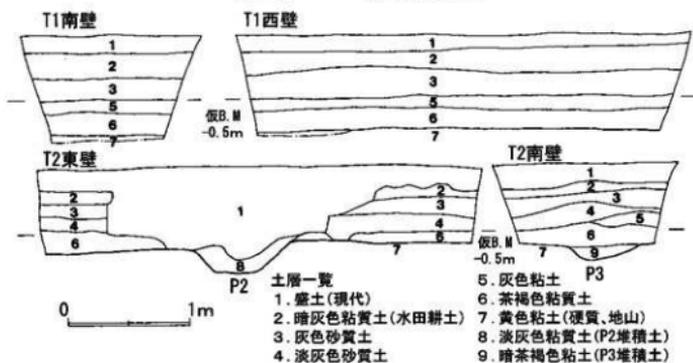
第11図 高畑遺跡発掘調査地周辺図(1:5,000)



第12図 調査区平面図



第13図 T2 検出遺構平面図



第14図 土層断面図

第4章 都呂須遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

今回の発掘調査は、住宅の建築に伴い実施したものであり、平成17(2005)年5月25日に、遺構・遺物包含の有無を確認することを目的に、調査トレンチを2か所(約6㎡)設定して行った。

2. 調査の成果

調査トレンチを掘削したところ、現代盛土層の暗灰色土層(第1・2層)以下、T1では、暗灰色砂質土を主体とする土層(第3・8層)、黄灰色砂層(第9層)が堆積し、T2では、暗黄褐色砂質土を主体とする土層(第4・5層)、暗灰色砂質土と黄灰色砂の混合層(第7層)、そして第9層の堆積が認められた。

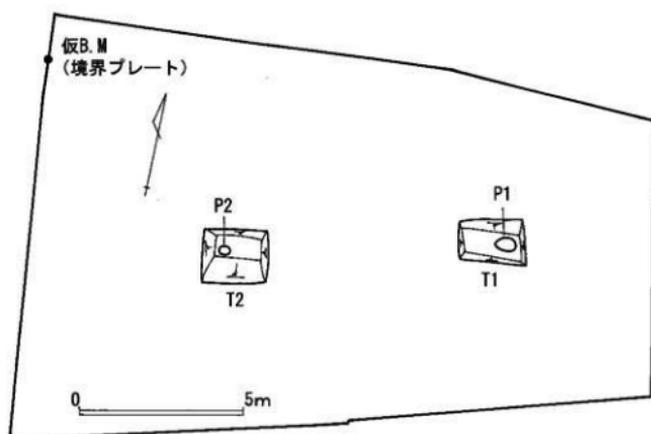
このうち、T1の第8層内からは、中世以前の土師器・須恵器・白磁等の破片が出土し、第9層をベース面としてピット(P1)が1基検出された。P1は、長径約70cm、短径約50cmで、深さ約15cmを測った。

また、T2では、第4～7層内で中世および近世以降の遺物片が混在して出土し、第9層をベース面にしてピット(P2)が1基検出された。P2は、長径約44cm、短径約30cm、深さ約15cmを測った。

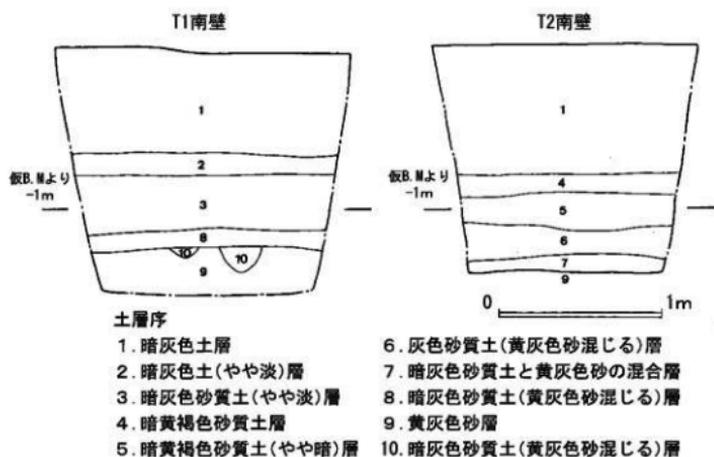
検出状況からして、T1のP1については中世、T2のP2については近世以降の所産ではないかと考えられる。



第15図 都呂須遺跡発掘調査地周辺図(1:5,000)



第16図 調査区平面図



第17図 土層断面図

第5章 高城B遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

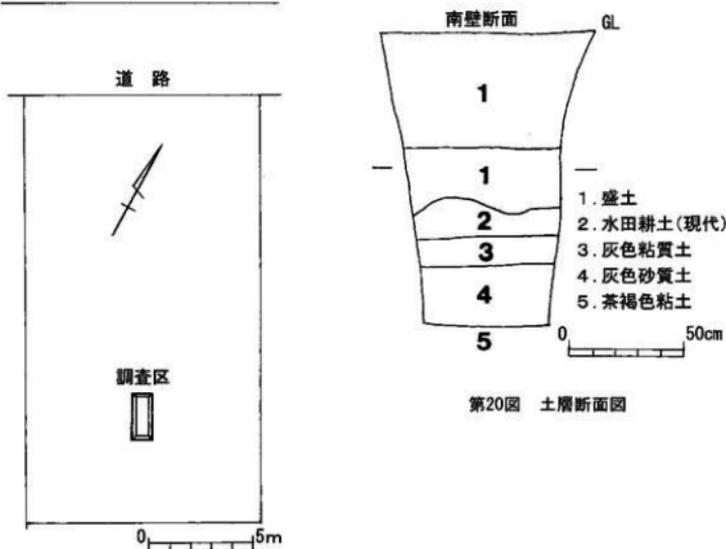
今回の調査は高城町1348-4において、平成17(2005)年11月29日に住宅の建築に伴い、調査区1か所(調査面積2.2㎡)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

当調査区の基本層序はⅠ層盛土、Ⅱ層水田耕土、Ⅲ層灰色粘質土、Ⅳ層灰色砂質土、Ⅴ層茶褐色粘土で地表下約1.3mまで掘削した。これらの層からは遺構・遺物等は確認されなかった。



第18図 高城B遺跡発掘調査地周辺図 (1:5,000)



第19図 調査区平面図

第6章 原東遺跡の発掘調査

1. 調査の経過

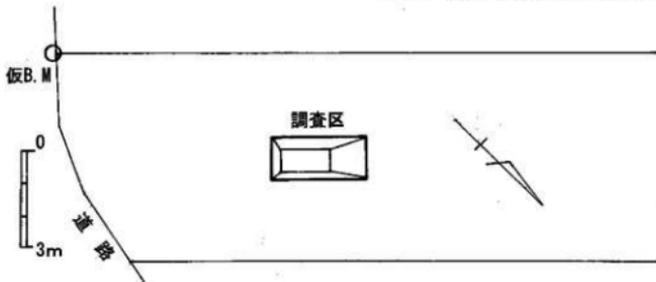
今回の調査は原町4-2199-9の原東遺跡(周辺地)において、住宅建築に伴い実施したもので、平成17(2005)年12月15日に調査区1か所(調査面積4㎡)を設定し、重機及び人力で調査を実施した。

2. 調査の成果

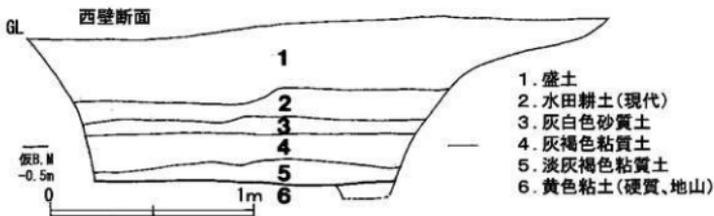
当調査区の基本層序はⅠ層 盛土、Ⅱ層 黒灰色土(水田耕土)、Ⅲ層 灰白色砂質土、Ⅳ層 灰褐色粘質土、Ⅴ層 淡灰褐色粘質土、Ⅵ層 黄色粘土で地表下約0.9mまで掘削した。Ⅵ層は硬質の粘土層で地山と判断される。これらの層で遺構・遺物等は確認されなかった。



第21図 原東遺跡発掘調査地周辺図(1:5,000)



第22図 調査区平面図



第23図 土層断面図

報告書抄録

ふりがな	へいせい17(2005)ねんどまいぞうぶんかざいきんきゅうはくつちようさがいりょう
書名	平成17(2005)年度埋蔵文化財緊急発掘調査概報
副書名	垂水遺跡 高畑遺跡 都呂須遺跡 高城B遺跡 原東遺跡
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編集者名	西本安秀 賃納章雄
編集機関	吹田市教育委員会
所在地	〒564-0041 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号 TEL (06)6384-1231
発行年月日	西暦 2006年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ′ ″	東経 ° ′ ″	調査期間	調査 面積	調査 原因
		市町村	遺跡番号					
たるみいせき 垂水遺跡	すいたしたるみちよう 吹田市垂水町1-731-20	27205	86	34° 45′ 55″	135° 30′ 16″	20050207	3.5	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいたしたるみちよう 吹田市垂水町1-677-17	27205	86	34° 45′ 53″	135° 30′ 23″	20050228	4.6	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいたしたるみちよう 吹田市垂水町1-761-1	27205	86	34° 45′ 57″	135° 30′ 09″	20050713	10.2	建物の 建築
たるみいせき 垂水遺跡	すいたしたるみちよう 吹田市垂水町1-699-22	27205	86	34° 45′ 56″	135° 30′ 20″	20050909	5.6	建物の 建築
たかばたけいせき 高畑遺跡	すいたししやうかわちよう 吹田市昭和町1451-4	27205	126	34° 45′ 50″	135° 31′ 42″	20050323・ 20050324	11.2	建物の 建築
とろすいせき 都呂須遺跡	すいたしうちほんまち 吹田市市本町2-794-1	27205	91	34° 45′ 28″	135° 31′ 29″	20050525	6	建物の 建築
たかしら 高城B遺跡	すいたしなかしらちよう 吹田市高城町1348-4	27205	117	34° 45′ 40″	135° 31′ 43″	20051129	2.2	建物の 建築
はらひがしいせき 原東遺跡	すいたしはらちよう 吹田市原町4-2199-9	27205	13	34° 46′ 36″	135° 31′ 44″	20051215	4	建物の 建築

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
垂水遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	土師器	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
垂水遺跡	集落遺跡	弥生～中世	なし	なし	なし
高畑遺跡	集落遺跡	古墳～中世	ピット	土師器・須恵器・瓦器	なし
都呂須遺跡	集落遺跡	弥生・中世	ピット	土師器・須恵器・白磁	なし
高城B遺跡	集落遺跡	古墳～中世	なし	なし	なし
原東遺跡	集落遺跡	古墳・中世	なし	なし	なし



調査区近景(南西から)



調査区北壁(南から)

図版 2 垂水道跡〔平成16(2004)年度・第2期〕



調査区近景(南東から)



調査区南壁(北から)

図版3 垂水遺跡〔平成17(2005)年度・第1期〕



調査地近景(北西から)



調査区東壁(西から)



調査地近景（北西から）



調査区（北から）



調査区北壁（南から）



調査区北・西壁（南東から）

図版 6
高畑遺跡 1



調査地近景（南東から）



T 1 近景（北から）

図版 7
高畑遺跡 2



T 1 近景 (北から)



T 1 南壁 (北から)

図版 8
高畑遺跡 3



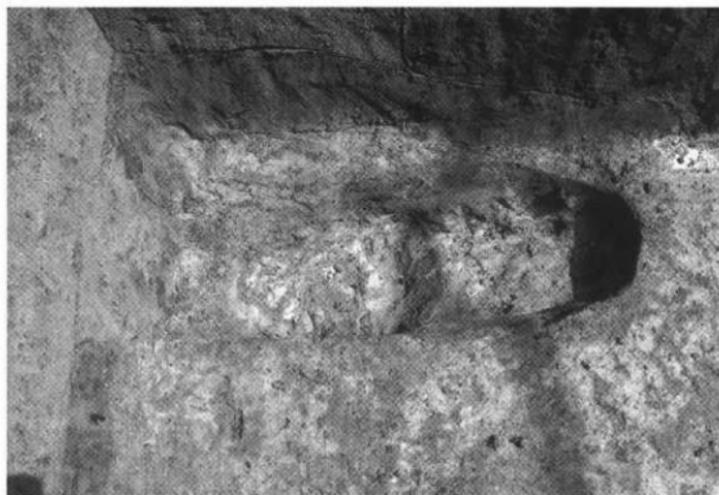
T1 東壁 (西から)



T2 近景 (北から)

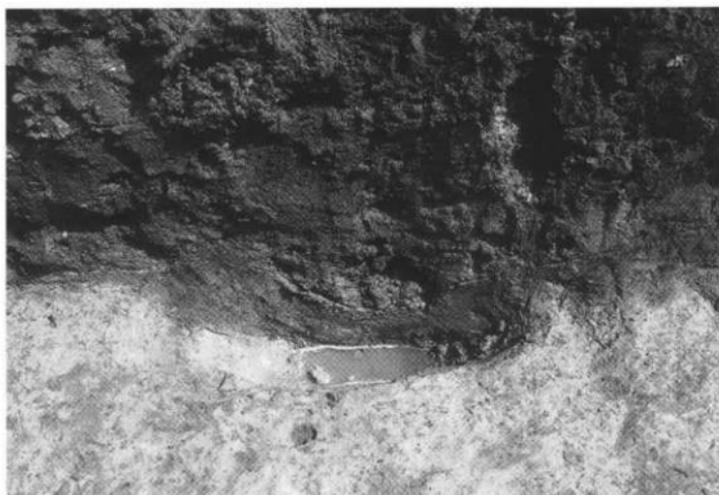


T2 東壁 (西から)



T2 P1 (西から)

図版 10
高畑遺跡 5



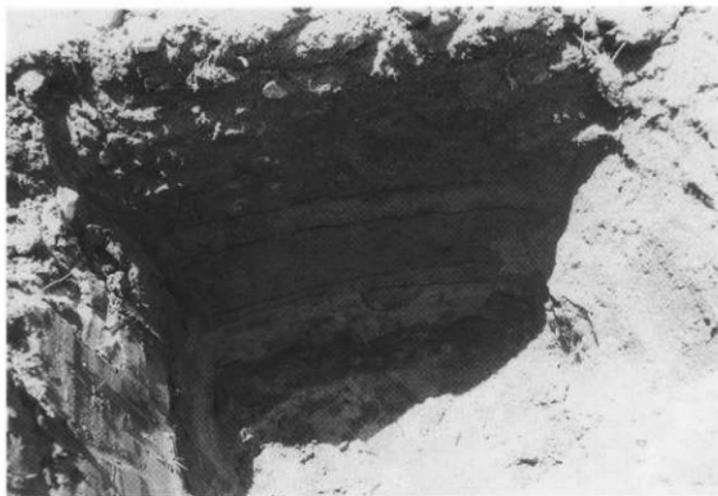
T 2 P 2 (西から)



T 2 P 3 (北から)



T1 近景 (東から)



T1 南壁 (北から)



T 2 近景 (南西から)



T 2 P 2 (南西から)



調査地近景 (北から)



調査区近景 (北から)

図版 14
原東遺跡



調査地近景（北から）



調査区近景（北から）

平成17(2005)年度
埋蔵文化財緊急発掘調査概報

垂水遺跡
高畑遺跡
都呂須遺跡
高城B遺跡
原東遺跡

平成18(2006)年3月31日
編集 吹田市泉町1丁目3番40号
発行 吹田市教育委員会